

令和6年度【野田村商工会】経営発達支援事業 評価

<<評価基準>>
 A: 目標を達成することができた(100%以上)
 B: 目標を概ね達成することができた(80～99%)
 C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30～79%)
 D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
 E: 未実施(0%)

I. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	6年度	実績	6年度評価		
		目標		現状	事務局	委員会
1. 地域の経済動向調査に関すること	(1)地域の経済動向分析(国が提供するビッグデータを活用)の公表回数	HP掲載1回	「RESAS」(地域経済分析システム)を活用した地域の経済動向分析を行い、当商工会のホームページに公表した。	1回	A	A
	(2)景気動向分析(岩手県等の統計調査情報等を活用)の公表回数	HP掲載1回	景気動向分析を行い、当商工会のホームページに公表した。	1回	A	A
2. 需要動向調査に関すること	(1)商談会における調査対象事業者数	3者	いわて食の商談会及び八戸物産展等に出席した2者に対し調査を行った。	2者	C	C
	(2)「道の駅のだ」における調査対象事業者数	3者	八戸物産展での消費者ニーズ調査について、またキャッシュレス決済等において3者の調査を行った。	3者	B	B
	(3)野田村ブチよ市での調査対象事業者数	3者	野田村ブチよ市の出店者に対し8者調査を行った。	8者	A	A
	(4)野田村「ワインのタベ」での調査対象事業者数	3者	ワインのタベにおいて、3者に対し調査を行った。	3者	A	A
3. 経営状況の分析に関すること	(1)経営分析事業者数	20者	事業計画の策定が必要だと考えられる事業者に対して経営状況の分析を行った。また、必要に応じて専門家派遣等の制度を活用して分析している。	25者	A	A
4. 事業計画策定支援に関すること	(1)DXセミナーの開催	1回	経営分析を行った事業者を対象に、県連との共催セミナーを行った。	1回	A	A
	(2)事業計画策定セミナー及びマーケティングセミナー	3回	事業計画策定セミナーを2回開催し、キャッシュレス決済事業において事業者説明会を開催した。	3回	A	A
	(3)事業計画策定個別相談会	3回	事業計画策定個別相談会を6回開催した。	6回	A	A
	(4)事業計画策定事業者数	10者	事業計画策定にちて12者の支援を行った。	12者	A	A
	(5)創業計画策定事業者数	1者	創業計画策定について1者の支援を行った。	1者	A	A
	(6)事業承継計画策定事業者数	3者	事業計画策定事業者10者の支援を行った。	10者	A	A
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること	(1)事業計画策定フォローアップ対象事業者数 頻度(延べ回数)	10者 60回	上記の計画策定事業者をフォローアップを行った。	12者 64回	A	A
	(2)創業者フォローアップ対象事業者数 頻度(延べ回数)	1者 5回	創業計画策定事業者及び創業者に対してフォローアップを行った。	1者 5回	A	A
	(3)事業承継フォローアップ対象事業者数 頻度(延べ回数)	3者 12回	事業承継計画策定事業者や事業承継を行った事業者に対してフォローアップを行った。	10者 15回	A	A
	(4)事業計画策定事業者のうち、売上増加事業者数	5者	事業計画策定者へ計画実行のためのフォローを行う。各事業者の状況を見ながら臨機応変にフォローをしている。	4者	B	B
	(5)事業計画策定事業者のうち、営業利益率1%以上増加事業者数	3者	計画策定した事業者の内、3者の営業利益率1%向上を目標とし、3者の営業利益向上につながった。	3者	A	A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	(1)地元消費者を対象としたテスト販売事業者数 売上額/者	3者 5万円/1者	野田村ブチよ市において地元食材等を使用し販売を行った。	3者 5万円/1者	A	A
	(2)商談会出展事業 成約件数/者	3者 1件/1者	いわて食の商談会に1者、八戸物産展に1者、6次産業化で新商品の開発及びレシジ開発の支援を行った。	3者 1件/3者	C	C
	(3)県産ECサイト利用事業者数 売上増加率/者	3者 5%/1者	県産ECサイトを活用し2者の売上増加を図った。	2者 3%/1者	C	C
	(4)Webマーケティング支援事業者数	2者	SNSを活用してもらい、宣伝効果を向上させるための支援をセミナーを活用して行った。	3者	A	A

令和6年度【野田村商工会】経営発達支援事業 評価

<<評価基準>>
 A: 目標を達成することができた(100%以上)
 B: 目標を概ね達成することができた(80～99%)
 C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30～79%)
 D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
 E: 未実施(0%)

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	6年度	実績	6年度 評価		
		目標		現状	事務局	委員会
7. 事業の評価及び見直しをするための仕組み	(1)野田村商工会経営発達支援事業評価委員会の開催	2回	経営発達支援計画の事業進捗状況の共有や課題、今後の対応策について検討を行った。開催回数は年2回(年度初め、年度途中)としている。	2回	A	A
8. 経営指導員等の資質向上等	(1)各種研修会の参加及び資質向上の取り組み	5回	火災共済主催の研修会に2回、DX関係のセミナー1回、金融公庫の協議会に2回、生命保険募集人研修を1回、計6回受講した。	6回	A	A
	(2)DX推進に向けたセミナーの開催	1回	岩手県商工会連合会と共催でセミナーを開催した。	1回	A	A
	(3)DXに向けたIT・デジタル化の取り組み	1回	定期的(月1回)にミーティングを開催し意見交換等を行うことで、職員の支援能力の向上及び円滑な事業運営を行った。	12回	A	A
	(4)OJT制度の実施	12回	北部広域指導員より指導を受け、各補助金申請や経営革新計画等の申請について取り組みを行った。また、職員間での進捗状況を確認し定期的に情報共有を図った。	12回	A	A
	(5)職員間の定期ミーティングの開催	6回	月1回の正副会長会議時に、進捗状況について情報共有を図った。	12回	A	A
	(6)データベース化による情報共有と活用	6回	商エイントラを活用しデータ入力を行い共有を図った。	12回	A	A
9. 地域経済の活性化に資する取り組みに関すること	(1)野田村活性化協議会の発足・協議会の開催	2回	村主催の会議に出席した。	2回	A	A
	(2)6次産業化の推進	1者	6次産業化について、1者に対して新商品開発やレシピ開発等の支援を行った。	1者	A	A
	(3)観光イベントや農林水産物直売イベントの開催と地域の魅力の発信力向上	8回	野田まつりの開催、プチよ市の開催7回、地元特産品収穫祭1回	8回	A	A
	(4)三陸沿岸道路の高速交通関連施設構想の着手	1回	村の案で道の駅構想に着手し、会議等に出席した。	1回	A	A
	(5)地域活性化イベント	1回	プチよ市の開催7回、ペアレンビアフェスト1回、地元特産品収穫祭1回	9回	A	A

令和6年度総合評価
B